Hanoi International School

保護者のためのハンドブック
HIS初等部



2026 – 2027

目次

連絡先 3

初等部の校長からのメッセージ 4

HISの理念声明

ミッションとビジョン 5

コアバリュー 6

質の高い教育と学び 7

国際バカロレア（IB）プログラムの学習者像 8

グローバル市民としての資質と異文化学習 9

第1章: 初等部の概要

1.1 カリキュラムの概要 10

1.2 評価 12

1.3 報告 14

1.4初等部の教職員チーム 16

第2章: カリキュラムとサービス

2.1 多言語とEAL（補助英語） 18

2.2 生徒支援 18

2.3 専門科目 19

2.4初等部におけるICT活用とデバイス 20

2.5 生徒の健康 22

2.6 校外学習 22

2.7図書館 23

2.8 食堂 23

2.9課外活動プログラム（CCP） 23

2.10家庭学習ポリシー 24

2.11ハウス制度 24
2.12 生徒会 (STUCO) 24
2.13表彰制度 25
2.14送迎手段 25
2.15緊急時対応手順 26

第3章: 生徒に対する期待

3.1 授業日 27
3.2 学年度 28
3.3 出席 28
3.4 遅刻 28
3.5一日の終わりの生徒お迎えの手順 28
3.6服装 29
3.7生徒の行動とマナー 30
3.8ガム 33
3.9外部からの食べ物の注文 33
3.10ロッカー、私物、および忘れ物 33
3.11食事および栄養 34

第4章: 保護者と学校の連携

4.1 保護者と学校のコミュニケーション 35
4.2 校内への出入り 36
4.3 保護者会（PTA） 36
4.4 個人情報の変更 36
4.5 一般的な問題 36
4.6保護者からの苦情手順 37

連絡先



Bradley Ringrose

学校長（全校）
bringrose@hisvietnam.com



Lara Johnston

初等部*校長*
ljohnston@hisvietnam.com



Shanez Cabraal

*IB初等部*の副校長*兼 コーディネーター*
scabraal@hisvietnam.com

ハノイ・インターナショナル・スクール

ベトナム、ハノイ、バディン、コンヴイ、リエウザイ通り、48 番
(84 24) 3832 8140 – 3832 7379
(84 24) 37624184
www.hisvietnam.com
mainoffice@his vietnam.com

初等部の校長からのメッセージ



保護者の皆様へ
ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）小学部へようこそ。長年にわたり本校とともに歩んでくださっているご家庭の皆様も、このたび新たにHISコミュニティの一員となられた皆様も、新しい学年度を迎えるにあたり、心より歓迎申し上げます。
今年度は、HISコミュニティ全体にとって特別な意味を持つ一年となります。私たちは創立30周年という大きな節目を迎えます。この30年間、HISは、コミュニティの精神を育み、多様性と包摂性を大切にしながら、卓越した教育の実現を追求し続けてまいりました。
HISでは、長年にわたり培ってきた卓越した教育の伝統を受け継ぎ、学問的な探究を重視した質の高い学習環境を提供していることを誇りに思っています。昨年度に実施されたIBおよびCISの再認定審査において優れた評価をいただいたことを大変嬉しく思うとともに、その成果と本校の強みをさらに発展させていけることを楽しみにしております。
本校では、すべての児童一人ひとりに十分な目配りができ、その個性や可能性を深く理解できるよう、少人数学級を維持しています。そのため、一人ひとりの成長に寄り添いながら、適切な支援と励ましを提供することができます。私たちは、すべての児童が学校コミュニティとの深いつながりを実感するとともに、学校生活だけでなく、その先に広がる社会においても自信を持って力強く歩んでいけるよう、必要な知識や力を身に付けることが大切であると考えています。
こうした教育理念を支えるため、本年度の保護者ハンドブックは内容を更新し、より分かりやすい情報をご提供できるよう改善しました。
人員体制の追加：学校全体の図書館マネージャー、新しいEAL（英語を母語としない生徒のための英語教育）担当教師、そして新しい4年生担任教師を迎え入れることができ、大変嬉しく思います。

- **学習レポートとSOLO評価尺度**：保護者の皆様には、書面による学習レポートに関するより分かりやすい情報と、学校がSOLO評価尺度を用いて生徒の学習進捗状況を把握・改善する方法についての説明をご覧いただけます。
- **プログラム要件**：校外学習と水泳プログラムへの参加に関する要件を明確化しました。

私たちは、教育は家庭と学校が緊密に連携してこそ、最大の成果を生み出すものと考えています。そのため、**8月27日に開催予定の新年度保護者説明会へ**、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。この説明会は、新学年度の始まりを前に、保護者の皆様と直接お会いし、交流を深める貴重な機会となります。
本ハンドブックを、年間を通じてご活用いただける参考資料としてぜひお役立てください。また、新学期の開始後には、お子様の担任教師より学級運営や学習活動に関する詳細な情報をご案内いたします。ご質問やご意見などがございましたら、どうぞご遠慮なく私までお問い合わせください。
本校に寄せてくださる皆様の深い信頼と温かいご支援に、心より感謝申し上げます。創立30周年という記念すべきこの一年が、学びや発見、そして成長に満ちた実り多い学年度となるよう、皆様とともに歩んでいけることを楽しみにしております。
敬具



Lara Johnston
初等部校長

HISのビジョン、ミッション及びコアバリュー

ビジョンとミッションの声明





HISのミッションは、国際バカロレア機構（IBO）のミッションと深く結びついています。具体的には次の通りです。

IBOの目的は、探究心に富み、知識を備え、思いやりのある若者を育成することであり、文化的な理解と相互尊重を通じて、より良く、平和で持続可能な世界の構築に貢献することです。この目標のもと、IB機構は各国政府や国際機関と連携し、厳格な評価基準を備えた高度な国際教育プログラムを開発しています。これらのプログラムは、世界中の生徒が、主体的に行動し、思いやりにあふれ、生涯にわたり学び続ける力を持つ人間へと成長することを奨励しています。生徒たちは、人と人との違いを尊重すべき価値あるものとして認識するようになります（IBO, 2025）。

HISのコアバリュー

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）のコアバリューは、すべての行動の指針となる共通の基盤であり、前向きな学習コミュニティの構築を支えるとともに、責任感を持ち、尊重と溢れる仁愛の心を備えたグローバル市民の育成を支援します。



HISのバリュー

学習者コミュニティにおける多様性を尊重し、称えること。
開催国とその文化への理解と敬意を育むこと。
教育と具体的な行動を通じて、より良い世界の実現に貢献すること。
生涯学習者に対して、バランスの取れた成長を促す多くの機会を提供すること。
国際的な視野を持ち、IB学習者像に示される資質を実践しようと日々努める市民を育成すること。

質の高い教育・学習（HQLT）

質の高い教育・学習に関する声明は、効果的な学習・指導環境を築くための重要な原則を示しています。この声明は、理想的な学習体験を描き出し、教員が生徒を支援し、インスピレーションを与え、かつ適切な挑戦を提供する環境を設計するための指針となります。これにより、生徒一人ひとりが最大限にその可能性を発揮できるようにします。

ハノイ・インターナショナル・スクールでは、この声明が教育方針を明確に示すとともに、教職員の教育へのコミットメントを表しています。

HISにおける質の高い学習と教育

Hanoi International School

質の高い学習と教育とは、好奇心、批判的思考、コミュニティ、思いやりによって主体性を育む、変革的で包括的なプロセスである。

HIS では、次の点を尊重し学習計画を立てています

学習者がカリキュラムにアクセスできること

日々とその先の変動をできる限り予測し、全学習者がそれぞれの学習への取り組み方や表現方法に選択肢がある学習環境を整えること

安否

全学習者が安心してリスクを取り、間違いを受け入れ、仲間と協力できるように、帰属意識、共感、信頼、尊敬を育めること

アイデンティティ

コミュニティにもたらす独自の視点と強みのために、すべての関係者の多様なアイデンティティを尊重できること

コミュニティのメンバーであること

現実世界とのつながりがある経験を通じて、学習者が主体的に、地域社会や世界社会への有意義な貢献ができうること

概念理解

概念、知識、スキル間の相互作用を促進し、学習における深い理解を深める

探求

積極的な探究と調査を奨励し、様々な学習機会を通じて自分の経験を評価し理解を深め、常に学びを振り返り生涯学習を奨励する

革新

学習者が主体的に課題を見つけ、その機会をつかみとり、より良い世界に貢献する効果的で持続可能な問題解決方法を見出せることを奨励する

IB学習者像

すべてのIBプログラムの共通の目的は、国際的な視野を持ち、人類の価値を尊重し、地球を守るという共通の責任を深く自覚する人間を育成することです。これにより、より良く、平和な世界の実現に貢献することを目指しています。



グローバル市民としての資質と異文化学習

グローバル市民としての資質と異文化学習は、教育において欠かせない要素であり、多様性に満ちた相互につながる世界において、インサイトと尊重をもって関わっていくための準備を生徒に提供します。こうしたバリューは、生徒の意識や共感力を高め、文化的な違いを理解し乗り越える力を育むとともに、グローバルな課題に協力して取り組むためのスキルを養います。

この声明は、グローバル市民精神の育養と異文化学習の乗り越えに対する、ハノイ・インターナショナル・スクールの信念と願いを表しています。

ハノイ・インターナショナル・スクールでのグローバルな人材と異文化学習

Hanoi International School

ハノイ・インターナショナル・スクールにおけるグローバルな人材とは、私たちが様々な地域社会や世界規模のコミュニティに属し、それらに有意義な貢献をする責任があることを認識する人々のことを意味します。私たちのコミュニティにおける異文化理解とは、多様な文化やアイデンティティを尊重し、異なる視点や経験を尊重する空間を創造し、育む役割を受け入れることを意味します。

第1章：初等部の概要

1.1カリキュラムの概要

初等部では、学業の卓越性に向けた教育および学習活動を構築するため、IBの初等教育プログラム（PYP）を導入します。このプログラムは、生徒の全人的な成長を重視し、好奇心を育み、問いを立て、批判的思考を促すとともに、文化的な違いを尊重する姿勢を育てます。これらは、生涯学習に向けた基盤となり、責任あるグローバル市民としての成長を支えるものです。HISでは、PYPの理念と高い学術基準、そして思いやりと多文化にあふれた環境を融合させることで、自信に満ち、思いやりがあり、有能な学習者を育成することをお約束します。

探究を通じた学び

HISでの学びは、積極的かつ意味のある学びの旅です。PYPプログラムでは、探究型学習と教科横断的アプローチが取り入れられており、概念を深く理解することで、知識とスキルの基盤を築くことを目的としています。探究とは、生徒が自らの学びに積極的に関わり、主体的に探し求めていく学び方です。生徒たちは問いを立て、実験や問題解決を通して知識をつなげ、より深く理解していきます。探究を通じて、生徒は自分の視点を表現し、意味のある現実世界のテーマについて学び、協働作業や批判的思考力を育てます。この学び方は、生徒の好奇心を刺激するだけでなく、身近なことから新しい発見へと段階的に知識を構築していくのに役立ちます。探究的なアプローチでは、遊び・問題解決・教師による指導が組み合わさり、楽しく、いきいきとした、有意義な学習体験を生み出します。

探究カリキュラム

PYPを導入している学校では、「探究カリキュラム（POI：Programme of Inquiry）」が体系的に設計されており、生徒が1年間を通して探究する教科横断的ユニットの方向性を示しています。このカリキュラムは、以下の6つの主要なテーマに基づいて構成されています。

- 私たちは何者か
- 私たちがいる場所と時間
- 私たちの表現の方法
- 世界の仕組みの方法
- 私たちの組織の仕方
- 地球の共有

これらのテーマは、さまざまな学習分野をつなぎ、生徒のより深い理解を促すとともに、探究的な学びの力を育てます。その成果、生徒は意味があり、関連性の高いテーマに取り組むことができ、PYPフレームワークに基づいた知識・スキル・態度の向上につながります。

HISでは、すべての学年がこの6つの教科横断的なテーマに基づいて学習に取り組んでおり、保育園– 幼稚園と年少クラスでは年間4つのテーマを学習します。これらのテーマを通して、生徒はビッグアイディアを探究し、言語、数学、理科、社会、芸術、自己の成長など、複数の分野

を統合した実体験的な活動に取り組みます。このような学際的な学びにより、生徒は教科同士や周りの世界とのつながりを深く理解することができます。また、教師と生徒が一緒に学習体験を計画することで、生徒自身が選択し、意見を表現できる機会が生まれます。

WIDA学校

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）は、WIDAシステムに属する学校の一つです。WIDAは、英語学習者（ELL）のための言語発達基準、評価ツール、教育支援資料を提供する教育機関です。この組織の目的は、学校や教員が多言語話者の言語力向上と学業達成の支援を行えるようサポートすることにあります。WIDA学校として、HISは英語を補助的に学習する生徒（英語学習者）に対して、WIDAのカリキュラム枠組みを活用しています。これには、研究に基づいた言語発達基準、適切な評価ツール、そして効果的な指導戦略の導入が含まれており、生徒が英語力を伸ばしながら、学習内容を十分に理解・吸収できるよう支援します。WIDAシステムに属する学校では、公平性（エクイティ）を重視し、教師間の協働を奨励するとともに、言語を学びの中核要素として捉えています。これにより、すべての生徒が学業面および社会面の両方で成功するために必要なサポートを受けられるよう取り組んでいます。

重要なスキルの育成

HISでは、生徒たちに「IB学習方法（ATL：Approaches to Learning）」と呼ばれる重要なスキルを身につける訓練を行っています。これは、生徒が効果的かつ自信を持って学ぶための鍵となるものです。IB学習方法（ATL）に含まれるスキルは以下の通りです。

- 思考スキル：*問題解決や意思決定のための批判的かつ創造的な思考力。*
- コミュニケーションスキル：*話す・書く・その他の方法でアイデアを明確に伝える力。*
- 社会性スキル：*他者と効果的に協力し、尊重し合いながら協調する力。*
- 自己管理スキル：、感情コントロール、目標設定の能力。
- リサーチスキル：*情報を責任を持って検索・評価・活用する力。*

これらのスキルはすべての教科の学習を支え、生徒が自立した学習者として生涯にわたって学び続ける力を育てます。また、教室内だけでなく、将来の人生においても成功するための強固な基盤となります。

国際的な思考力とグローバル市民精神の育養

HISでは、生徒に対して国際的な視野を持ち、多文化の多様性を尊重し大切にする心を育てることを常に目指しています。IB学習者像は、この成長を導く指針となり、生徒が知識豊かで、思いやりがあり、開かれた心を持ち、原則を重んじ、自分自身を振り返る力を持つ人間となることを促します。PYPプログラムを通じて、生徒は主体的に学び、自らの学びをコントロールすることが奨励されます。探究的な学びと自己評価を繰り返すことで、生徒は段階的に知識を深め、概念を深く理解し、スキルを身につけます。これらすべてが、生徒自身やコミュニティ、そして世界に対してポジティブな影響をもたらす力となります。

カリキュラムと授業内容

本校では、PYPの枠組みの中で、オーストラリア学術報告・評価機関（ACARA）の基準に基づいた探究カリキュラムを構築しています。科目は英語、数学、理科、社会科学・人文学（

HASS）、テクノロジー（デザインおよびデジタル技術）、芸術（ダンス、演劇、メディアアート、音楽、美術）、保健体育を含みます。

英語はHISの主要な教授言語です英語学びプログラムは、言語・文学・応用言語の3つの密接に関連した分野に基づいて構築されています。言語は、生徒が文法、語彙、文構造をしっかり身につけることを支援します。文学では、多様なジャンルの作品に触れることで、文化的・社会的価値の理解を深めます。応用言語は、日常の実際的な状況で言語スキルを効果的に使うことに焦点を当てています。これら3分野は互いに補完し合い、生徒の英語力を総合的に育成します。授業と評価は、3つの分野を調和的に統合して行われます。また、WIDA学校として、私たちはWIDAの教育理念と英語発達基準（ELD: English Language Development Standards）の枠組みも取り入れ、英語学習者に対する特別な支援を提供しています。これにより、生徒は英語スキルをしっかり伸ばしながら、学術科目の学習も並行して進めることができます。

数学プログラムは、以下の3つの内容領域に基づいて構成されています：数と代数、測定と図形、統計と確率。加えて、生徒は以下の4つの数学的能力も訓練します：理解、熟練、問題解決、論理的推論。数と代数では、数の概念、計算、および代数的思考を理解します。測定と図形では、空間的推論力を養い、測定単位や図形の特性について学びます。統計と確率では、データの分析方法や、事象の起こりやすさを評価する力を育てます。数学的能力は、生徒にとって次の4つの重要なスキルを築くものです：理解は、数学的概念に対する確かな知識の基礎を築く；熟練は、スキルを正確かつ効果的に使える力を養う；問題解決は、課題にアプローチし、モデル化する力を高める；論理的推論は、論理的思考力と明確な表現力を伸ばす。

HISでは、多言語学習を国際的な思考力と異文化理解を育むために欠かせない重要な要素として、特に重視しています。幼稚部から小学5年生まで、すべての生徒がベトナム語を学びます。授業は、母語話者グループと非母語話者グループに分けて行われます。小学5年生からは世界の言語プログラムが始まり、ベトナム語に加えて、中等部への進学を見据えた別の外国語にも触れる機会が設けられます。ベトナム人、日本人、韓国人の生徒は、それぞれの母語での読み書き能力を伸ばし、文学に親しむ機会を持つことができます。その他の生徒は、言語能力をさらに広げるためにフランス語の授業に参加します。

ベトナムの国家教育プログラムの要件に対応するために、ベトナム国籍を持つ小学4年生および5年生の生徒は、追加のベトナム語の授業に参加することが義務付けられています。これらの授業は、毎週木曜日の午後、CCP（課外活動）の時間枠内で実施されます。授業内容はベトナム教育訓練省のガイドラインに基づいて構成されており、ベトナムの歴史、国土の地理、地域文化に重点を置いています。

1.2 評価

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）はでは、評価は継続的かつ意図的なプロセスであり、効果的な教育と学習を支援するために行われています。評価は、生徒の成長や学習成果に関する重要な情報を提供し、学校と家庭が連携して、生徒が自信を持ち、能力のある学習者へと成長できるよう支援します。

PYPプログラムにおいては、評価の中核となる原則として、多様で信頼性の高い方法を用いて、生徒一人ひとりの学びの過程を包括的に反映することが重視されています。評価は生徒中心で行われ、生徒自身が自己評価を行い、自らの学習目標を設定することが奨励されます。評価の焦点は、単に点数や学期末の成果にとどまらず、生徒それぞれの成長と進歩のプロセスに置かれています。

評価とは、情報を収集するプロセスであり、生徒と教師の双方が「自分は成長しているか？」「どういう方法でそれがわかるか？」といった重要な問いに答えるための手助けとなります。PYPプログラムにおいて、評価は主に4つの要素から構成されます：モニタリング、記録、測定、そして学習成果の報告です。それぞれが重要な役割を果たしますが、特に私たちは観察と記録に重点を置いています。なぜなら、これらは生徒の学びと成長を支援する有益なフィードバックを提供するための土台となるからです。このようなアプローチにより、評価は日々の教育・学習の過程を導くための有効なツールとなります。

HISでは、評価を「学ぶための評価」と「学んだことの評価」という、密接に関連した2つの重要な観点から捉えています。評価は、オーストラリア学術課程報告・評価機構（ACARA）が定める基準に基づいて実施されており、対象科目は理科、社会・人文科学（HASS）、英語、算数です。さらに、私たちはIBの学習アプローチ（ATL）やIB学習者像（LP）、WIDA語学評価、MAPテストなどの手法も使用して、教育をサポートし、生徒の進捗状況を監視します。

学ぶための評価（過程評価）

これは、学習の過程全体を通して行われる評価のことです。この評価により、教師は各生徒の強みや支援が必要な点、そして進捗の度合いを把握することができます。こうした継続的な情報をもとに、教師は一人ひとりの生徒に合った指導方法を柔軟に調整することが可能になります。

生徒もまた、こうしたフィードバックから多くの恩恵を受けます。自分の学習過程を振り返り、個人の目標を設定し、学習成果の向上に積極的に取り組む姿勢を身につけていきます。これにより、教師と生徒の間に前向きで協力的な関係が築かれ、学びに関する対話が自然で開かれたものになります。学習過程において私たちがよく活用する評価方法には、生徒の観察及び質問の投げかけがあります。さらに、生徒同士による相互評価や自己評価を行い、同時に、能力に基づいたさまざまな課題を割り当てて、生徒の進捗状況を監視します。

学んだことの評価（成果評価）

「学んだことの評価」は、一定の学習期間や授業の終了後に実施される評価です。この評価は、生徒がどのような知識、スキル、理解、態度を身につけたかを明確に示します。この評価成果は、教師が生徒、保護者、その他の関係者に学業成績を報告するために使用されます。この評価は、単なる記憶力の確認にとどまらず、深い理解や実生活への応用力にも重点を置いています。代表的な総括的評価の方法としては、学習者像、プレゼンテーション、プロジェクト、テストなどがあります。

評価のツールと方法

HISの教員は、生徒の学びや理解度を把握するために、さまざまな評価ツールや方法を活用しています。各クラスに合わせた独自の評価活動に加えて、以下のような手法も導入しています。

- SOLO分類枠（観察可能な学習成果の分類表）。SOLO分類枠は、生徒の学習成果と理解度の質を測定するための評価ツールです。私たちは、さまざまな学習テーマでこの枠組みを使用しています。このツールにより、「良い学習成果とは何か？」という明確な基準が示され、生徒は自己の学習を振り返り、自己評価を行い、学習目標を設定するこ

とができます。教師にとっても、構造的なフィードバックを提供し、強みや改善点を明確に伝える助けとなります。この分類枠は、理科、人文学、英語、数学、学習アプローチ、学習者像などの教科の学習目標に対応しており、生徒が学びの意味を理解するのに役立ちます。多様なスキル分類や選択を取り入れた活動を通して、すべての生徒が自分の理解を表現する機会を持つことができます。

- MAP（学習進捗の測定）：MAPは、読解力と数学の進捗を追跡するための、コンピューター適応型テストです。テストの難易度は、生徒一人ひとりの回答に応じて調整されます。小学1年生から5年生までの生徒は、年に2回MAPテストを受けます。教師はMAPテストの成果を活用して、日々の授業を調整する（学ぶための評価）とともに、生徒の学習成果を把握する（学んことの評価）ために役立てます。

- WIDA評価ツール：WIDAは、保育園− 幼稚園から高校3年生までの多言語学習者を対象とした英語能力評価システムです。評価は「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能に焦点を当てています。HISでは、母語が英語でない生徒は、学年の初めにWIDAテストを受け、教師が適切な支援計画を立てる手助けとします。学年末には、進捗を評価し、学習ニーズを把握するために再度テストを実施します。

- Fountas & Pinnell（F&P）読解力評価：F&P読解力評価は、生徒の読書レベルや読解スキルを把握するための評価です。1対1の読書セッションを通じて、教師は語彙の認識力、物語の理解力、および生徒が使う読書戦略を観察します。これらの情報は、読解力向上のための指導に活用され、生徒一人ひとりの現在のレベルに合った本を選ぶ際の参考にもなります。

1.3 報告

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）では、教授と学習のプロセスの一環として、生徒の進捗状況の報告が定期的に行われます。教師は保護者および生徒と密接に連携し、学習成果を評価するとともに、新たな目標を共に設定します。HISは、効果的な学びを実現するためには、生徒自身が評価プロセスに積極的に関与し、自らの成長を認識することが重要であると考えています。生徒の学習状況は、公式なイベントおよび日常的なコミュニケーションを通じて報告されます。

主な公式報告の形式には、学期末レポート（第1学期・第2学期）、三者面談、および生徒主導の面談があります。三者面談は、教師、生徒、保護者が一堂に会し、生徒の学習過程と進捗について話し合う機会です。この場では、提出物を確認しながら、強みや改善が必要な分野を明確にし、新たな目標と支援計画を設定します。生徒主導の面談では、生徒自身が話し合いをリードし、最も話しやすい言語を使って、自らの学習過程や成果について共有します。この形式により、生徒は学習に対する責任感を育み、保護者の積極的な関与が促され、教師は必要に応じて支援する役割を担います。

HISでは、継続的な報告にいくつかの重要な要素が含まれています。例えば、学習テーマ全体にわたるSOLO分類枠を用いて生徒の理解度を評価すること、生徒が学習内容を共有し、自己反省するためのSeesaw学習ジャーナルを作成すること、学習の進捗状況について話し合い、目標を設定するための定期的な教師と保護者の面談などです。さらに、学校は課題を通して学習の成果を示し、学習テーマの復習セッションを開催して成果を評価し、生徒が地域社会と関わり、有意義な体験を得られるよう支援しています。これらの活動はすべて、保護者が常に情報を入手し、お子様の学習過程に積極的に参加するのに役立ちます。

初等部の学習成果報告

公式な報告イベント			
イベント	日時	*参加者*	*保護者の役割*
三者面談	第1学期：2026年10月13日（終日、授業なし） 第2学期：2027年1月5日（終日、授業なし）	生徒、全教員、HISファミリー	▪ 生徒と一緒に教師との面談に参加する。 ▪ 積極的に参加し、質問や意見、フィードバックを行う。
学習成果レポート（Managebacの成績表にて）	ご家族への報告書送付日： ▪ 第1学期：2026年12月10日 ▪ 第2学期：2027年6月8日	生徒、全教員、HISファミリー	▪ レポートを読んで確認する。 ▪ Managebacからダウンロード・保存する。 ▪ お子様と一緒に内容を話し合い、成果を称えたり、改善点を共有する。
生徒主導の面談	2027年6月4日（金） （授業なし）	生徒、全教員、HISファミリー	▪ 面談のスケジュールを調整する。 ▪ お子様が主導する面談に積極的に参加し、質問や意見を述べる。
定期的な交流活動			
学習テーマにおけるSOLO分類枠	各学習テーマ終了時	保護者、担任教師	▪ Seesawを通じて共有されたSOLO分類枠を確認し、評価する。
Seesaw学習ログ	学年を通してSeesawデジタルプラットフォームにて	生徒、全教員、HISファミリー	▪ 学習者像を閲覧し、コメントやフィードバックを行う。
保護者と教師の面談	教師または保護者からの要望により、学年間を通じて随時開催	▪ 保護者、担任教師 ▪ 必要に応じてサポート教師 ▪ 必要に応じて教科担当教師	▪ ▪学習成果や進捗に不安がある場合、保護者または教師が面談を依頼できる。 ▪ 面談日時・目的を事前に調整する。 ▪ 積極的に参加し、質問・意見・フィードバックを行う。
学習の証拠	学年間を通じて	生徒、全教員、HISファミリー	▪ 家庭で共有された課題を確認し、コメントやリアクションを行う。
テーマの概要	学年間を通じて	生徒、全教員、HISファミリー	▪ 学習テーマに関する生徒の発表を聴く観客として参加が歓迎される。
コミュニティとのつながり	学年間を通じて	生徒、全教員、HISファミリー	

1.4教職員チーム

組織運営体制

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）では、校長が学校全体の最高責任者として、組織運営、戦略的計画、および学校全体の発展を指揮し、すべての生徒に質の高い教育体験を提供する責任を担っています。校長の指導もと、初等部校長および中等部校長が各学部の日常運営を統括しています。彼らの役割には、教員チームのリーダーシップ、教員の専門能力開発の支援、そして学校の方針の確実な実施が含まれます。また、各学部校長は、生徒の生活指導、規律対応、当番スケジュールの調整、代替教員の手配など、生徒管理に関する業務も担当しています。この管理チームを支えるのが、初等部および中等部の教務主任です。彼らは、カリキュラムの設計と改善をリードし、学校全体で効果的な指導法が実践されるよう教育の質の向上に取り組んでいます。

教職員チーム

HISでは、すべての初等部教員が高い専門性と豊富な国際的指導経験を持ち、生徒に質の高い教育を提供しています。初等部の教員は、オーストラリア、シンガポール、フィジー、フィリピン、カナダ、インド、韓国、サモア、日本、スリランカ、ニュージーランド、マレーシア、アメリカ合衆国、イギリスなど、多様な国籍と文化的背景を持つ専門家で構成されています。こうした多様性は、生徒に多角的な視点をもたらし、興味深く豊かな学びの環境を創り出しています。

さらに、長年にわたって学校に貢献してきた経験豊かなベトナム人スタッフも在籍しており、地域への深い理解と学校運営の安定性に貢献しています。教職員全員が、国際教育の原則に基づいた情熱とエネルギーにあふれ、互いに支え合うオープンで協働的な学習環境を築いています。

また、HISでは理想的な生徒と教員の比率を維持しており、教師が一人ひとりの生徒に丁寧に寄り添い、学習スタイルに応じた指導を行うことが可能です。こうした関係性を通じて、生徒は学力だけでなく、生活スキルも含めた全人的な成長を遂げることができます。

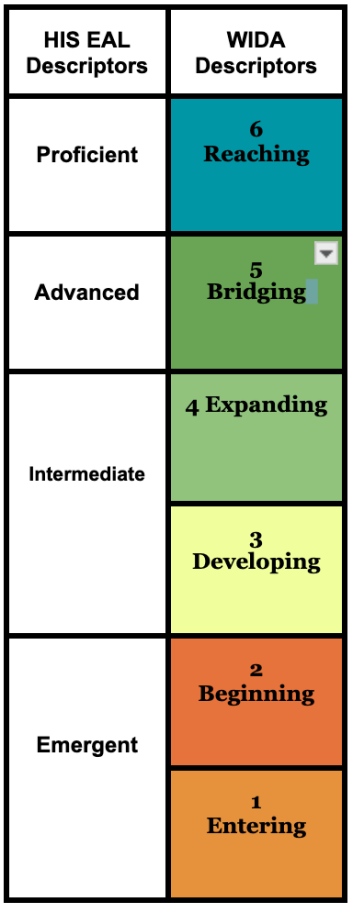
初等部 教職員一覧

役職	担任教師/教科担当教師	教育補助員
校長	Bradley Ringrose	
初等部校長	Lara Johnston	
初等部副校長 / PYPプログラムコーディネーター	Shanez Cabraal	
初期	Esther Butland	Nguyễn Thị Hoài
1年生	Shabana Mansuri	Nguyễn Thị Kim Anh
2年生	Rachel Tenzythoff-Yoon	Nguyễn Thị Thảo
3年生	Pushpa Waters	Đặng Minh Hiền
4年生	Michael McOmie	Vũ Thị Diệu Linh
5年生	Arnold Poe	Hoàng Thị Xuân
体育(PE)	Gary Towers	Trần Bảo Long
視覚芸術と音楽	Leigh Pritchard	Phạm Nguyễn Trúc Linh
EAL（補助英語)	Jennifer Norland -初期, 1年生, 2年生 Paul Heymans - 3年生, 4年生, 5年生	
世界の言語：ベトナム語	Trần Thị Thu Trang Lê Thị Lan Anh	Nguyễn Anh Thư
世界の言語：韓国	Youngjoo Anh	
世界の言語：フランス語	Đỗ Thị Hồng Hạnh	
世界の言語：日本語	Azusa Sawada	
全校学習支援ファシリテーター	Sabrina Hartmann	
学校全体担当カウンセラー	Fabiola Shaw	
全校図書司書兼リサーチ・コーディネーター	Peter Jacobson	Nguyễn Thị Thúy Hạnh Lê Phương Anh
正課外活動プログラム（CCP)コーディネーター	Sina Abasnejad	

第2章：カリキュラムとサービス

2.1多言語と補助英語（EAL）

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）では、言語の学びは基本であり、非常に重視されています。なぜなら、言語はコミュニケーション、思考、そして多様なコミュニティへの理解を支える重要な手段だからです。HISはWIDA学校として、WIDAの理念と英語言語発達基準を取り入れています。これらは、公平性、インクルージョン（包摂）、協働、そして実践的な言語使用に重点を置いたものです。HIS での言語学習には、家庭、学校、その他の国際言語での学習、文化的アイデンティティの確認、国際的な思考の構築が含まれます。



HISでは、英語が主な教授言語として使用されています。しかし、生徒やコミュニティによって話され、使用されているすべての言語は、等しく認められ、同じように重要とされています。生徒の言語的および認知的発達を支援するために、翻訳活動は高く評価され、積極的に奨励されています。HISに通うすべての生徒は、英語に加えてもう1言語（ベトナム語）を学ぶことが義務づけられており、バイリンガルまたはマルチリンガル教育に対する当校の取り組みを体現しています。

評価の項でも述べたように、本校の教師はさまざまな評価方法を活用し、生徒の学習体験を効果的に導いています。WIDAスクリーナー（WIDA Screener）およびWIDAアセスメントは、生徒が英語学習者であるかどうかを判断するために使用されます。さらに、WIDAのツールは時間の経過に伴う英語力の進捗を測定・追跡するためにも活用されます。英語を母語としないすべての生徒は、WIDAの評価を受けることが求められます。

英語学習を始めたばかりの生徒には、個別支援、小グループ支援、クラス全体への支援の組み合わせに加え、必要に応じて延長授業を行うなど、目標に基づいたEALサポートが提供されます。本校のEAL専門教員チームは、すべての学年の担任教師およびアシスタントと密接に連携し、評価データを活用して差別化された、個別に対応する支援を提供しています。これらの専門家は、英語初心者の生徒に直接指導を行うだけでなく、クラス内で担任教師と協働し、学習環境の中ですべての多言語生徒を支援する共同教育も実践しています。

2.2 生徒サポート

HISは包括的なコミュニティであり、すべての生徒の学力に応じた多様な学習体験を提供しています。私たちはさまざまな背景を持つ生徒を歓迎し、それぞれのニーズに応じて、正課プログラムの中で個別の学習支援を行うよう努めています。学習に大きな困難を抱えている生徒には、教室内での直接的な支援、小グループでの学習支援、または個別対応など、追加的なサポートを提供します。

小生徒サポートチーム

HISの小生徒サポートチーム（ESST）は、学業支援、総合的な指導、生徒のアドボカシー、社会性と情動の教育、カウンセリングなど、生徒の成功を支援するための幅広いサービスを提供しています。ESSTチームは、特に学業や社会性と情動で困難を抱える生徒に的を絞った支援を提供するために、多層的なアプローチを用いて面談や紹介を調整しています。

ESSTチームは、初等部リーダーシップチーム、生徒支援部長、スクールカウンセラー、学習支援教員で構成されています。私たちのチームは、社会的、学習的、行動的、そして感情的なニーズに対応するサポートを提供しています。しかしながら、施設上の制限により、階段の利用において身体的な支援を必要とする生徒への対応は現在のところ難しい状況です。

サポート計画は、教師の観察、フィードバック、評価をもとに、必要に応じて外部の専門家の協力も得ながら、個別に作成されます。これらの計画は、保護者、生徒、教職員との協働を通じて策定され、年間を通じて継続的にモニタリングされ、目標のあるサポートが行われるように設計されています。

フルタイムの個別支援や外部の専門機関による評価レポートが必要な場合、それらのサービスには追加費用が発生し、保護者の責任において手配していただくことになります（学校が必要に応じて案内を行います）。また、教育心理士による正式な評価レポートが求められる場合は、学校が定める期限内にその報告書を提出する必要があります。期限までに提出されない場合、生徒の在籍資格が取り消される可能性があります。

社会性と情動の教育

本校のスクールカウンセラーは、定期的にSecond　Stepプログラムを通じて、社会性と情動スキルに関する授業を行っています。このプログラムでは、思いやり、レジリエンス、セルフコントロールなど、生徒が人生において重要となるスキルを育むことを目的としています。私たちは、こうした社会性と情動のスキルの発達は、教室での学習と同じくらい重要であると考えています。なぜなら、これらのスキルは、学校内外においてもお子様の健全な成長と幸福を支える土台となるからです。

2.3専門科目

HISでは、初等部の生徒は、美術、体育（PE）、音楽、ベトナム語の専門授業に参加します。これらの授業は、各クラスのホームルームカリキュラムと連携しながらも、それぞれの教科に特化した知識とスキルに焦点を当てた専門セクションとして実施されます。このアプローチにより、生徒は創造力、身体能力、音楽的感性、言語スキルをバランスよく伸ばすことができ、総合的かつ深い学習体験を得ることができます。

体育（PE）授業への参加

病気やけがにより体育の授業に参加できない場合、保護者または保護者代理人は、授業前にPE担当教師または教科チームに直接メールで連絡する必要があります。また、3回以上連続して授業を欠席する必要がある場合は、医師の署名済みの診断書の提出が求められます。提出されたすべての医療情報（メール・診断書など）は、適切なフォローアップと管理を行うため、学校のナースに共有されます。

体育（PE）の授業前に体調不良を訴えた場合、当該生徒は学校の保健室に移動し、看護師によ

る健康確認を受けます。その結果、授業への参加が難しいと判断された場合は、医療担当者が生徒の健康状態を継続的に観察し、保護者に連絡を取ります。なお、登校できるほどの健康状態である生徒には、通常、体育・健康教育を含むすべての学校活動への参加が求められます。明確な医療上の指示がある場合を除き、例外は認められませんので、あらかじめご了承ください。

PYP水泳プログラム参加規定

水泳は、学生の健康増進や活動的な生活習慣の維持に役立つだけでなく、水中での安全確保やサバイバルスキルを身に付けるためにも重要な活動です。さらに、水泳を通して自信を育み、運動協応能力や社会性を養うことにもつながります。

水泳は本校の教育課程における必修科目です。水泳の授業は正課授業の一環として実施されるため、HISでは代替授業の実施、学校内での個別の見守り体制の提供、ならびに不参加の生徒を対象としたオンライン授業の提供は行っておりません。

以下の重要事項についてご確認ください。

- 登校できる健康状態である場合、学生は登校し、時間割に従って水泳授業に参加することが求められます。
- 水泳授業の実施時間中、学校では水泳に参加しない学生を対象とした代替授業、オンライン授業、または個別の見守り・監督は行いません。
- 学生が水泳授業に参加しない場合は、その授業時間中は自宅で過ごしていただきます。保護者の皆様には、お子様が本規定を遵守できるようご協力をお願いいたします。

2.4 初等部におけるICT活用とデバイス

HISにおいて、情報通信技術（ICT）は教育と学習において重要な役割を担っており、生徒にコミュニケーション、協働、創造、そして自己主導的な学びの機会を提供しています。PYPでは、ICTはさまざまなデジタルツールやメディアを活用しながら、生徒が探究し、批判的に思考し、創造的に表現し、学びを現実世界と結びつけることを可能にします。ICTは、IB学習者像や、PYPの主要要素である概念、知識、スキル、態度、行動と緊密に統合されており、授業、学習、評価をより深めるものとなっています。

デバイスの使用

デバイス」という用語は、ここではノートパソコン、タブレット、スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどの電子機器全般を指します。生徒は授業中に個人の携帯電話、携帯音楽プレーヤー、スマートウォッチ、携帯型ゲーム機などを使用することはできません。5年生の生徒は、自分のノートパソコンを持参するか、学校が提供するノートパソコンを使用することができます。初等部の生徒全体では、学習支援のために、共用のノートパソコンおよびiPadを使用しています。携帯電話を持っている生徒は、それを常にカバンの中に入れておく必要があります。使用の有無に関わらず、携帯電話が見つかった場合は、初等部の校長が一時的に預かり、当日の授業終了後に返却します。保護者の皆さまが授業中にお子様へ連絡を取りたい場合は、担任教師または学校事務局を通してご連絡ください。

幼稚園プログラム～2年生	***3-5年生***	***5年生***
生徒は、授業中に学習目的で学校が提供するiPadを共用して使用します。	生徒は、授業中に学習目的で学校が提供するiPadを共用して使用します。	5年生の生徒は、授業中に使用するために個人のデバイス（ノートパソコン）を持参することができます。必要に応じて、学校からデバイスが貸与されます。
個人の携帯電話の使用は許可されていません。携帯電話はかばんの中に入れておくか、家に置いてくる必要があります。		

テクノロジーの使用方法

HISでは、幼稚部から5年生までの生徒が、テクノロジーを責任を持って慎重に使用する方法を学びます。年少の生徒たちは、ノートパソコンやiPadなどのデバイスを安全かつ丁寧に使うことに重点を置き、たとえば「優しく扱う」「許可されたときだけ使う」「使い終わったら正しく片づける」といった基本的なルールを守ることを学びます。年長の生徒（3～5年生）は、ICTを使ってコミュニケーションをとったり、調べ学習を行ったり、学びを深めたりします。同時に、オンライン上での節度ある行動の大切さ（ネットいじめを避ける、情報を共有する前によく考えることなど）を理解していきます。すべての学年で、インターネット使用時の安全対策を守ることや、不適切なコンテンツに出会った場合にはすぐに教師に相談することが奨励されています。

効果的な指導法と組み合わせることで、テクノロジーは生徒の学びを大いに向上させます。テクノロジーを責任を持って使用することは、教師の指導のもとで行われ、安全な学習環境の確保につながります。その環境では、生徒は自分の学習を支えるための機器、デジタルコンテンツ、学習リソースにアクセスすることができます。この特権を維持するために、生徒は責任あるデジタル市民として行動することに同意します。

「デバイス」という用語は、個人所有か学校所有かに関わらず、すべての機器を指します。すべての生徒は、PYPにおけるTHINKデジタル・シチズンシップ契約に従う必要があります：

T – 自分自身に優しくする： 自分自身に誇りを持ちましょう。オンラインに共有したことは長く残ることを忘れないでください。

H – 他の人を助ける:オンライン上でも親切で敬意を持って接しましょう。他人を傷つけるようなことを言ったり、したりしないでください。

I – 感謝の気持ちを伝える:使っている画像や物語を作った人に、感謝の言葉を忘れずに伝えましょう。

N – 安全にインターネットを使う： インターネットを使って学びましょう。学校での学習に安全なウェブサイトを利用し、パソコンやインターネットを壊すような行為は避けましょう。

K – 常に安全を守る： 自分の個人情報をオンラインで決して共有しないでください。もしネット上で不安になったり、心地よくないことがあったら、必ず大人に相談しましょう。

2.5生徒の健康

HISには、校内に保健室があり、ベトナム人看護師2名が常勤しています。看護師は、授業中に発生した軽い病気やけがに対応します。より深刻な医療上の緊急事態が発生した場合には、学校が病院での治療を手配し、速やかに保護者に連絡します。

本校は、緊急時に無料で救急車サービスを提供する医療機関であるFamily Medical Practiceと提携しています。ただし、本校の保険では、Family Medical PracticeやRaffles Medicalなど、診療費が高額なインターナショナルクリニックでの診察・治療費は補償対象外となります。これらの医療機関の利用を希望される場合は、保険の手配および診療・治療にかかる費用は、保護者の皆様のご負担となります。

お子様の安全を確保するために、慢性的な病状、アレルギー、または持病などがある場合は、必ず学校にご連絡ください。必要に応じて、緊急時の対応方法を記載した医師の診断書もご提出ください。学校に持参するすべての薬には、明確な使用説明書を添付してください。また、重大な健康問題や感染症が発生した場合には、速やかに学校にご連絡いただくようお願いいたします。

発熱した生徒は、少なくとも24時間熱が下がってから登校するようにしてください。学校で発熱が確認された場合は、下校となり、翌日は自宅で休養しなければなりません。

2.6 校外学習

HISの校外学習は、お子様の学びを豊かにする重要な役割を果たしています。これらの活動は、カリキュラム、主要なコンセプト、学習テーマの内容と直接結びついています。校外学習を通じて、生徒は教室で学んだことを実際の場面で応用し、より深く理解し、有意義な学びを得ることができます。また、校外学習は生徒の社会性の発達を支援し、ベトナムの文化や環境を直接体験する貴重な機会にもなっています。

各校外学習は、学習テーマや具体的な学習目標に合わせて、担任教師が綿密に企画・計画を行います。全ての生徒の安全と健康を確保するために、各校外学習の前には危険性評価を実施します。この危険性評価は小学校部校長が慎重に確認し、承認します。保護者の皆様には事前に詳細な情報が提供され、お子様の参加には保護者の署名入りの許可書が必要です。安全確保のため、生徒は学校指定の体育用の制服を着用し、校外学習中は学校の行動規範を守らなければなりません。

4 & 5年生キャンプ

校外学習の距離や所要時間はクラスや学習の焦点によって異なる場合があります。長時間の校外学習では、生徒が午前の軽食や昼食を持参する必要があることもあります。11月には、4と5年生が「学びのプロジェクト」を通じて一泊二日のキャンプに参加します。このキャンプは、地域文化への理解、環境意識、チームビルディングに焦点を当てており、生徒の探究型学習をさらに支援することを目的としています。校外学習に関してご質問やご不明な点がございましたら、お子様の担任教師までお気軽にご連絡ください。

キャンプ活動への参加に関する規定
キャンプ活動は、本校の教育課程および教育活動の一環として実施される重要なプログラムです。学校は、お子様をキャンプ活動に参加させるかどうかについての各ご家庭のご判断を尊重

いたします。ただし、本活動は本校の正規の教育課程に含まれているため、HISでは、キャンプ活動に参加しない学生を対象とした代替授業の実施、学校内での見守り・監督体制の提供、ならびにオンライン授業の提供は行っておりません。

健康上の理由により学生が欠席する場合は、保護者は医療機関が発行した診断書または証明書をご提出ください。また、お子様がキャンプ活動に参加するかどうかについて、出発日の1か月前までに学校へご連絡いただけない場合は、医療機関が発行した診断書または証明書の提出がある場合を除き、不参加に伴い発生した費用をご負担いただきます。キャンプ活動に参加せず、かつ医療機関が発行した診断書または証明書をご提出いただけない場合は、欠席として取り扱われます。

ご質問や特別な事情についてご相談がある場合は、できるだけ早めに担任教師または小学校部校長までご連絡ください。

2.7 図書館

図書館は学校の重要な一部であり、学習と探究を支援する多様な書籍や資料を提供しています。生徒は毎週、本を借りて読書や調べ学習を行うことが奨励されています。図書館では、授業内外の読書を補うための貴重な英語参考資料を豊富に取り揃えており、休み時間や放課後には静かな学習スペースとしても利用されています。また、本校では多言語コミュニティの言語も大切にしており、様々な言語の書籍の収蔵も年々増やしています。ジャンルごとに整理された蔵書と定期的に更新されるコレクションにより、生徒たちは自分の興味や読解レベルに合った本を見つけることができます。生徒は一度に最大3冊まで本を借りることができます。また、保護者の皆様もご家庭でお子様と一緒に読書を楽しんでいただくために、本を借りることが可能です。

2.8食堂

保護者の方は、お子様にお弁当を持たせることも、Joma　が運営する学校の食堂で昼食を注文することも可能です。生徒は、昼食を食堂外の棚や冷蔵庫に保管することができ、休み時間中は職員の見守りのもと保管されます。また、生徒が使用できる電子レンジが2台設置されています。昼食の注文および支払いは、Joma　アプリを通じて行われ、本校の事務局からの案内に従って操作します。生徒は飲み物を持参することができ、一日を通して清潔な水を利用できます。また、軽食を持参するか、Joma　のクレジットカードを使って食堂で購入することも可能です。ご質問がある場合は、以下のJoma本部オフィス（hisfoodservices@joma.biz）までご連絡ください。

2.9 課外活動プログラム（CCP)

HISの課外活動プログラム（CCP）は、生徒に午後3時から4時までの間、さまざまな活動の機会を提供しています。CCPは年間を通じて3つの学期に分かれており、各学期は10週間続きます。活動は教師が指導し、一部のクラスは外部講師によって行われ、有料となる場合があります。保護者の方には、CCPコーディネーターからEメールで情報と申込用紙が送付されます。生徒は参加を希望する3つの活動を提出し、各学期に最大2つの活動を選んで参加できます。CCPの目的は、生徒が学習とスポーツ、芸術、サービス、文化体験とのバランスをとることにあります。たとえば、サッカー、創作ライティング、絵画、彫刻、テコンドーなどの活動があります。生徒が1年間に少なくとも1つのCCP活動に参加することが推奨されており、これにより全人的な成長と社会的なつながりが促進されます。

課外活動プログラムに加えて、HISでは放課後楽器プログラム（ASI）も提供しており、生徒はキーボード、ギター、バイオリンなどの楽器を学ぶことができます。これらのレッスンは、学校の音楽教師または外部の講師によって指導され、正規の授業時間外に実施されます。このプログラムは有料となります。

課外活動に参加しない生徒は、放課後に学校に残ることはできませんのでご注意ください。監督する大人がいないためです。このような生徒は、午後3時までにスクールバスまたは個人の交通手段で下校しなければなりません。CCPの活動に参加する生徒には、午後4時にスクールバスの利用が可能です。また、年齢が幼く授業時間も長いため、幼稚園の生徒はCCPへの参加は第2期からとなります。ご了承ください。

CCPおよびASIプログラムに関する詳細については、CCPコーディネーター（ccp@hisvietnam.com）までお問い合わせください。

2.10家庭学習ポリシー

初等部における家庭学習は任意であり、生徒にプレッシャーを与えることなく、学習をサポートする目的で設計されています。学校での忙しい一日や放課後の活動を踏まえ、家族との時間を大切にすることが重要だと私たちは考えています。お子様は、自宅でリラックスして過ごし、家庭での時間を楽しむべきです。家庭学習は、特に読書習慣の促進や初等教育における学習テーマに関連する課題を通じて、授業内容の理解を深めることを目的としています。教員は、Mathletics や RAZ Kids などのオンラインプラットフォームを活用した活動を課す場合や、自宅での自主読書や親子での読書のための教材を配布することがあります。また、生徒は図書館の本を最大3冊まで借りて、自宅での読書に活用することが推奨されています。

高学年の初等部においては、生徒の自己管理能力の育成や中等教育への備えとして、より正式な宿題が出されることがあります。お子様にさらに多くの宿題を希望される場合は、担任教師にご相談ください。体育（PE）、美術、音楽、または世界の言語（ベトナム語、韓国語、日本語、フランス語）などの専門科目については、宿題の提出は必須ではありません。

Pages and Pajamas」プロジェクト

HISでは、夜の読書プロジェクト「Pages and Pajamas（ページとパジャマ）」を通して、読書を積極的に推奨しています。定期的な読書は、語彙力、読解力、集中力、創造力、自信を高めるとともに、ご家族との特別なつながりの時間を築くことができます。生徒たちには、英語と母語の両方で読書をし、家族と物語を共有することを奨励しています。お子様の読書への取り組みを励ますために、50日、100日、200日、250日の読書達成ごとにご褒美を用意しています。

2.11ハウス制度

HIS に入学すると、すべての生徒は教師によって次の 4 つのハウスのいずれかに割り当てられます：トカゲ（緑）、水牛（黄）、ドラゴン（赤）、フェニックス（紫）。学年度を通じて、生徒たちはハウス同士で競い合う様々な競技やスポーツイベントに参加します。ハウスポイント制度は、生徒がIB学習者像の特性を発揮することを促し、コミュニティ意識や友情の構築にもつながります。ハウス制度は学校生活の重要な一部であり、すべての生徒と職員がこの制度に参加します。

2.12生徒表彰

HISでは、学習における生徒の成長や成果をさまざまな形で称えています。たとえば、「コ

ミュニティ・コネクション活動」や「PYP学習者賞」などのイベントを通じて表彰を行います。教師は、IB学習者像の特性を前向きな姿勢で体現し、模範となるような行動を示した生徒を選出し、その努力と成長を讃えます。

2.13生徒会（STUCO）

生徒会（STUCO） は、生徒がリーダーシップスキルを学び、身につけるとともに、学校をより良い場所にすることに貢献できる特別なグループです。STUCOのリーダーたちは、生徒が責任感と他者への思いやりを持ったグローバル市民となるよう促すことで、学校の使命を支援しています。STUCOは、生徒同士のつながりを深め、学校全体の一体感を育み、すべての人が居場所を感じられるようにするための楽しい活動を企画します。また、STUCOは学校のリーダーシップチームに対し、生徒の声に基づいた貴重な視点や意見を提供する役割も担っています。1年生から5年生までの各クラスから2名ずつの代表者が選出され、選挙は学年の初めに行われます。

2.14送迎手段

本校の送迎手段

HISは、ハノイ市内に在住するすべての児童を対象にスクールバスサービスを提供しています。バスの利用は、送迎担当ディレクター（transportation@hisvietnam.com） を通じて手配され、以下の時間帯で運行されます：

1. 登校バス：午前7時30分
2. 下校バス：午後3時00分
3. 放課後下校バス：午後4時00分

学年の開始前に、事務局がすべてのご家庭に連絡を取り、送迎のニーズを確認し、適切なサービスを手配いたします。

個別*送迎手段*

お子様がスクールバスを利用しない場合は、担任の先生と定期的な送迎の手配についてご相談ください。また、お子様は知っている大人が送迎する必要があることをご了承ください。安全確保のため、中学校のMYP学年の兄弟姉妹が小学校のPYPの生徒を送迎することや、公共交通機関（例：Grabのドライバー）を利用してお子様を帰宅させることはできません。

バイクの安全運転

本校はベトナムの法律を遵守しており、バイクの運転者は少なくとも18歳以上であること、かつ有効な現地の運転免許証を所持していることが必要です。また、運転者は常にヘルメットを着用しなければなりません。

HISは、違法なバイクの使用を一切容認または許可していません。学校は、法律を遵守しないバイクを利用する生徒に関して、金銭的または法的責任を負いません。また、無免許の運転者による送迎の場合、生徒の安全についても責任を負いません。

この方針は、生徒および保護者に対して、学校からの書面、ニュースレター、ウェブサイト、

およびその他の適切な言語でのメディアを通じて明確に共有されます。

なお、健康保険、医療保険、障害保険、生命保険などの保険契約は、生徒が違法に運転または乗車した場合や、年齢未満の場合に事故に遭った際には無効となる可能性があります。例えば、いくつかの国際保険会社は違法運転を危険行為とみなしており、保険金請求を拒否する場合があります。

2.15緊急時対応手順

ロックダウン指示 / 火災警報 / 避難手順はそれぞれの場所に掲示されています。教職員と生徒が手順を確実に理解できるよう、定期的に緊急避難訓練を実施しています。

保護者はHISの登録用紙に緊急連絡先を必ず記入しなければなりません。特に、第一および第二の保護者を慎重に選択してください。両親が不在の場合に生徒が学校で迎えがいない状況を避けるため、異なる二名の保護者を指定することが必要です。選ばれた保護者は、保護者と連絡が取れない緊急時に学校が連絡を取る相手となります。

電話番号や緊急連絡先に変更があった場合は、必ず学校に速やかに報告してください。

第3章：生徒に対する期待

3.1授業日

初等部の生徒は午前7時30分から登校可能です。幼稚園から年長組と5年生の生徒は直接教室へ入り、1年生から4年生の生徒は午前7時45分まで校庭で待機します。授業時間は午前7時45分から午後3時までです。

初等部での一日の概要:

- **登校と見守り：**生徒は7時30分から7時45分の間に登校することが望ましいです。見守りは7時30分から始まります。
- **授業時間:** 授業は7時45分に開始します。
- **午前の休憩時間:** 9時15分～9時50分
- **昼休み：** 11時10分～11時55分
    - 幼稚園から2年生: 11時10分～11時35分まで昼食、その後11時35分～11時55分まで遊び時間
    - 3年生から5年生: 11時10分～11時35分まで遊び時間、その後11時35分～11時55分まで昼食
- **午後の休憩時間:** 13:15 - 13:35
- **授業終了:** 授業は15時に終了します。
- **課外活動プログラム（CCP）：** 15時～16時

初等部の時間割は、8コマの授業と3回の休憩時間に分かれています。この時間割は、生徒が一日を通して学習、遊び、休息のバランスを取ることができるように工夫されています。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7:55 - 8:35					
8:35 - 9:15					
午前の休憩時間9:15-9:50					
9:50 - 10:30					
10:30 - 11:10					
昼休み11:10-11:55					
11:55 - 12:35					
12:35 - 13:15					
午後の休憩時間13:15 -13:35					
13:35 - 14:15					
14:15 - 15:00					
15:00 - 16:00	課外活動プログラム（CCP)				

3.2学年度

学年度は、約180日間の正式な授業日を基に構成されており、これに教職員の専門能力向上のための研修日が加わります。本校は、国慶節やテト（旧正月）を含む、ベトナムの伝統的および国の祝日に休校します。各学期には1回、昼食後に下校する「早帰り日」が設けられており、この時間は教員の会議、計画立案、専門的な協働のために活用されます。.

また、学年を通じて中秋節、インターナショナルデー、言語を愛する週間（Language Love Week）などの特別なイベントも開催されます。本校では、保護者の皆様にもこれらのイベントに積極的にご参加いただくことを奨励しています。最新の学年カレンダーは、本校のウェブサイトで随時更新されています： https://www.hisvietnam.com/.

3.3出席

お子様が欠席する場合は、欠席の理由と期間を担任の先生にメールでご連絡ください。校務オフィスにご連絡いただくことも可能です。連絡がない場合、安全上の理由から学校側よりご家庭にご連絡いたします。また、お子様のお迎えに別の方が来られる場合は、必ず担任および教育補助員にメールでお知らせください。

本校の学習プログラムは「探究型学習（inquiry-based learning）」に基づいているため、欠席中に個別の授業準備を行うことはいたしません。ただし、生徒は活動日誌を記録したり、Seesaw や Mathletics などのオンライン学習プラットフォームを引き続き利用することができます。

進級するためには、生徒は全授業日の90％以上に出席し、学力面でも一定の基準を満たす必要があります。出席確認は、毎朝のモーニングミーティングで行われます。お子様が授業途中で早退する必要がある場合は、事前に校務オフィスに許可をお取りください。

3.4遅刻

HISでは、特に朝の始まりにおいて時間通りに登校することが非常に重要です。授業に時間通りに参加することで、生徒は気持ちを整え、学習に向けた準備が整います。特に年少の児童にとっては、時間厳守が言語発達や読み書きスキルの習得にも効果的です。生徒は、授業が始まる午前7時45分までに登校する必要があります。7時45分を過ぎて登校した場合は、出席確認が正確に記録されるよう、必ず校務オフィスに立ち寄って報告してください。お子様が頻繁に遅刻する場合は、保護者に通知され、必要に応じて対応措置がとられることがあります。通学に関する問題で時間通りに登校できない場合は、校長または小学校部門の校長までご連絡いただければ、学校が適切なサポートを提供いたします。

3.5一日の終わりの生徒お迎えの手順

生徒は午後3時に下校しますが、課外活動（CCP）に参加する場合は午後4時の下校となります。保護者は時間通りにお子様のお迎えの手配をしてください。生徒は校内に留まることはできません。

学校のスクールバス

スクールバスを利用する生徒は校庭に集合します。補助教員が生徒をバスに案内し、正しい席に座りシートベルトを締めていることを確認します。生徒は勝手にバスを変更したり、他の生徒と一緒に遊びに行くためにバスに乗ることは禁止されています。

個人の交通手段

生徒は知っている大人に迎えに来てもらわなければなりません。徒歩で帰宅する生徒は、必ず保護者または大人が同行しなければなりません。バイクで通学または帰宅する全ての生徒は、必ずヘルメットを着用しなければなりません。安全確保のため、小学生（PYP）は中学生（MYP）の兄弟姉妹と一緒に帰宅したり、配車サービス（例：Grab）を利用して自分で帰宅したりすることはできません。生徒は正門の階段で迎えを待ち、初等部の校長および副校長の監督下にあります。

迎えの変更がある場合は、担任の先生、事務室、初等部の校長まで速やかにご連絡ください。

3.6服装

本校では体育（PE）の授業を除き、制服の着用は義務付けていません。しかし、本校は特別な環境であるため、生徒は清潔で快適、そしてベトナムの気候や文化に適した服装をするよう求められます。さらに、生徒は安全な服装と靴を選び、授業中の安全を確保するためにアクセサリーや髪型にも注意を払う必要があります。

体育・保健（PE）の授業における制服の規定	
通常の体育の授業	● 生徒はHISのスポーツウェアを着用しなければならず、学校のショップで購入可能です。 ● 適切な運動靴を履くこと（健康と安全上の理由から、つま先が覆われた靴の着用が必須です）。 ● 屋外活動時には帽子の着用を推奨します。
水泳の体育の授業	● 生徒は規定の水着を着用しなければならず、Tシャツや普通のショートパンツの着用は禁止です。 ● 男子：水着を着用し、必要に応じて首元まで覆う日焼け防止シャツまたはラッシュガード（水泳帽やファスナーなしのもの）を着ることができます。 ● 女子：ワンピースの水着または（任意で）水着用ショーツを着用し、必要に応じて首元まで覆う日焼け防止シャツまたはラッシュガード（水泳帽やファスナーなしのもの）を着ることができます。 ● ゴーグルの使用を推奨し、水泳帽の着用は任意です。 ● 規定に違反した服装の場合、水泳の授業に参加できません。

生徒は必要に応じて宗教上の理由で長袖や長ズボン、頭を覆う服を着用することができます。安全確保のため、身体活動中は一切のアクセサリーの着用は禁止されています。

3.7生徒の行動規範

HISでは、コミュニティ精神が学校が生徒の積極的な行動を校内外で支援するための重要な価値観となっています。学校は多様性を重視し、積極的な修復的実践（restorative practices）を採用しています。これは、生徒が自分の行動に責任を持ち、問題が起きたときにその結果を改善し、解決策を見つけるための思いやりのある関係を築くことを意味します。

本校は、積極的な行動を認め励ますことが、互いに尊重し支え合う学習環境づくりに貢献すると信じています。生徒は尊重され、安全で愛情あふれる環境で学ぶ権利があり、その一方で、思いやりを持ち、他者の成果を尊重し、コミュニティに積極的に貢献することが期待されています。

軽度の問題行動は教師が対応し記録しますが、より重大な問題や再発の場合は、校長および生徒支援チームが連携して検討します。これらのチームは協力して、すべての生徒にとって安全で包括的かつ積極的な学校環境を維持・支援しています。

以下のガイドラインは、すべての人が協力して尊重・安全・支援のある学習環境を築くための指針です。ここでは、生徒の積極的な行動を促進するために、生徒・教員・保護者それぞれに対する明確な期待をまとめています。

グループ	*期待*
生徒	● 学校コミュニティのすべてのメンバーに対して礼儀正しく責任を持った行動をすること ● 公平に他者を尊重すること ● 学校や他人の所有物を大切に扱うこと ● 文化の多様性を尊重すること ● 新入生を歓迎し、年下の生徒に気を配ること ● 正直かつ公平であること ● 宿題を期限内に提出すること ● 友達の学ぶ権利と先生の教える権利を尊重すること ● 先生の指示や学校の方針に従うこと ● 適切な服装と靴を着用すること ● クラスの約束を守ること ● すべての学習成果において正直であること
教師	● 生徒の学習、社会性、感情面の発達に責任を持つこと ● 行動管理において尊重し、支援し、一貫性と明確さを保つこと ● 生徒の参加を得て、公平なルールと習慣を設定することが理想的である ● 時間を守り、生徒にも時間厳守を求めること ● 良い模範となり、プロフェッショナルな態度で接すること ● 積極的な行動戦略（褒めること、交渉すること）を適用すること ● 生徒の多様なニーズに応じた魅力的な授業計画を立てること ● HISの行動管理手順に従って生徒の行動を調整すること（下記の表参照） ● 罰則よりも行動改善に重点を置いた、公平な処置を行うこと ● 授業中や校庭での規律問題を迅速に対応すること
保護者	● 学校の行動管理方針を支持すること ● 学校とのオープンな連絡を維持すること ● 行動問題の対応に招待された際には早期に参加すること

HISにおける行動管理表

¥ステップ1 **注意喚起** *現在のあなたの行動はクラスの約束に沿っていますか？*	ステップ2 **初回警告** *どの行動があなた自身や他の生徒の学習を妨げていますか？*	ステップ3 **2回目の警告** *？自分とクラスメートの学習を支援するために、何を変えますか？*	ステップ4 **3回目の警告** *自分の選択を振り返った後、次は何をしますか？*	ステップ5 **初等部の管理職** *これまでの行動について学校管理職と話し合い、今後の対応や再発時の結果について確認します。*
				

HISにおける行動管理表：すべての教師はこの手順を使用し、クラスの約束や期待に従わない生徒の行動を調整しています。

生徒に対する結果

生徒は授業中、休み時間、課外活動や校外学習において学校の規則を守ることが期待されており、自分の行動に責任を持ちます。

学校は行動管理システムを使用しており、担任教師と生徒支援チームが管理しています。重大な事案は、当番教師、担任教師、または小学校校長によって記録されます。すべての教師は、生徒の学習面、社会面、感情面に対して責任を負っています。

この資料の次の部分では、「安全で支援的な環境」（Safe and Supportive Environment）における行動レベルを示し、生徒の選択に関わる対応方法を案内します。

HIS小学校における安全で支援的な環境づくりの手順：行動レベルと対応方法

レベル1：軽度で頻繁でない行動であり、他の生徒の授業や学習を深刻に妨げるものではありません。これらの行動は教師が直接対応し、具体的な行動に焦点を当てて即座に修正します。	
• 課題に集中しない • 宿題を終わらせない • 指示に従わない • 校内で不適切に移動する • 不適切な言葉遣いをする	• つばを吐く • ポイ捨てする • 学校に不適切な物を持ってくる • 継続的に遅刻する • 他人への敬意を欠く
レベル1の対応方法：状況に応じた計画的かつ適切な介入を行い、必要に応じて軽度から重度へと段階的に対応する。	
• 明確な指示を出す • で支援的な学習環境に関するルールを再確認させる • 生徒に選択の機会を与える • 行動に見合った合理的な結果を与える • 時間割の活動外で振り返る時間を設ける	

レベル2：レベル1の行動を**繰り返す**、または授業や学習の妨げとなる行動を指します。これらは中程度の重大性を持つ行動であり、行動規範違反への対応は、教員の意見を参考にしたうえで校長が判断します。各事案については記録（報告書）が作成されます。

- 意図的な反抗行為
- 暴言や他者への侮辱的な発言
- セクシュアルハラスメントまたは人種差別的な言動
- からかい・いじめ
- 身体的な暴力またはけんか
- 危険な遊びをする
- 盗み
- 器物を破損する、落書きをする
- 無断で学校を離れる、無断欠席をする
- コンピュータを不適切な目的で使用する
- カンニングなど、学習における誠実性の違反

レベル2の対応方法：計画的なチーム支援を行い、関係者（教員、保護者、スクールカウンセラー、学校管理職など）を含む場合があります。対応方法には以下が含まれますが、これに限定されるものではありません：

- 一部の特典や活動の制限
- 特典の一時停止
- 付き添い学習
- 個別の行動契約または行動計画
- 仲裁・和解の場を設ける
- 保護者・家族との面談
- 振り返りスペース
- 心理カウンセリング
- 時間割外での振り返り時間の提供

レベル3：これは、HISの行動規範に対する重大な違反とみなされる行為、またはレベル2の行為の再発を指します。

- 自分自身または他人に危険を及ぼす行為
- タバコ、アルコール、その他の薬物の使用、所持または配布
- 危険物や武器の携帯
- いじめ（身体的、言葉によるもの、またはネット上のものを含む）
- コンピューターシステムへの不正アクセス
- 故意に財産や展示物を破壊する
- 教師に対して明らかな挑戦的・反抗的態度をとる
- 繰り返される反抗行為
- 財産の破壊
- 窃盗

レベル3の対応方法：計画的なチーム支援を行い、保護者、教員、スクールカウンセラー、学校管理職、必要に応じて関係機関が参加する場合があります。事案は、関係教員の意見を参考にしたうえで、学校全体の校長または学年主任によって正式に記録されます。その後の対応は、発生した行動に対して適切な処置を含みます。保護者への連絡も行われます。

- 振り返りスペース
- 保護者・家族との面談
- 校内または校外での停学処分
- 退学処分
- 一部の特典や活動の制限
- 薬物検査
- 個別カウンセリング

記載されているすべての行動例および対応方法は、各レベルの一例であり、完全かつ絶対的なリストではありません。学校は各生徒の状況に応じて、個別に適切な支援策を検討する権利を有します。

停学

「重大な」行為、または学校管理職の判断で受け入れられる基準を継続的に違反する行為は、校長の決定により1日から5日間の停学処分につながります。停学には以下の2種類があります：

- **内部:** 生徒は学校に在籍しますが、別室で監督のもと学習します。
- **外部:** 生徒は学校に登校せず、自宅で学習課題を行います。

停学期間中、生徒は学校のいかなるイベントにも参加できず、また学校を代表することもできません。停学期間中に欠席した活動に対して支払われた費用は返金されません。

停学後、生徒は保護者または保護者代理人と共に学校管理職との正式な面談に参加した後でのみ、学校に復帰することが許可されます。

退学処分

特に重大な違反行為、または繰り返される違反行為があった場合、学校は退学処分を検討することがあります。この決定は、校長、小学校校長、生徒および保護者・保護者代理人との十分な協議を経た後にのみ下されます。最終決定の前に、学校評議会のメンバーも参加して協議を行います。

3.8 ガム

校内ではいかなる時もガムを噛むことは禁止されています。

3.9外部からの飲食物の注文

いかなる場合においても、生徒が学校に食べ物や飲み物を配達させることは許可されていません。

3.10ロッカー、個人持ち物、忘れ物

すべての人の安全を確保するために、生徒は危険な物を学校に持ち込むことを禁止されています。また、教師からの指示がない限り、生徒はおもちゃや特別な私物を持参しないようお願いします

各生徒には個人用ロッカーがあり、ランドセルやその他の持ち物を収納します。授業中はランドセルをロッカーに入れておくことが推奨されます。室内履きを持参し、ロッカーの下に置くことも可能です。

忘れ物があった場合は、まず小学校美術室の外に設置されている「落とし物ボックス」を確認してください。学期末には忘れ物が一覧で展示され、生徒が取り戻せるようにします。残ったものは慈善団体に寄付されます。

生徒は自分の持ち物を自己管理する必要があります。保護者の皆様は、お子様の持ち物すべてに名前をはっきりと記入するようご協力ください。学校は生徒の持ち物の紛失や破損について責任を負いかねます。

3.11 食事および栄養

本校は、食を分かち合うことやコミュニティのつながりを育むという、アジア文化における大切な価値観を尊重し、その意義を大切にしています。通常の登校日における明確性、安全性、適切な運用を確保するため、保護者の皆様には以下のガイドラインにご協力いただきますようお願いいたします。

学生の昼食および食べ物の共有について

- 学生は、学校での学習時間中、家庭から持参した昼食、または食堂で提供される食事のみを食べるようにしてください。
- 他の学生の食事を食べないよう、お子様へご指導をお願いいたします。これにより、保護者の皆様がお子様の摂取する食品を正確に把握できるとともに、アレルギーの原因となる物質に誤って触れるリスクを低減することができます。

お弁当の準備に関するアドバイス：

- 自宅からお弁当を持参する場合は、バランスの取れた栄養価の高い食品を選んでください。炭水化物、タンパク質、果物、野菜をバランス良く摂ることで、エネルギーを維持し、学習に集中することができます。
- また、学校のカフェテリアでも毎日健康的な食事を提供しています。

おやつおよび共有する食品について

- 担任教師からクラス活動や行事等に関する具体的な依頼がある場合を除き、学生が友達と分け合うための大量のお菓子や甘い食品を持参することはお控えください。クラス行事や誕生日会などの際には、利便性と衛生面への配慮から、学生一人ひとりに個別包装された食品をご用意いただくことを推奨しています。

ナッツアレルギーおよび食品安全について

- 本校ではナッツ類の使用を全面的に禁止しているわけではありませんが、食物アレルギーへの対応を非常に重要な事項として認識しています。食堂スタッフは学生のアレルギー情報を把握しており、アレルゲンとの接触を避けるための必要な対策を講じています。
- お子様のクラスに食物アレルギーを持つ学生がいる場合、担任教師より避けるべき食品について具体的なご案内をいたします。該当する学生のプライバシーを守るため、学校からアレルギーを持つ学生の氏名を公表することはありません。
- 昼食の準備やクラスで共有する食品をご用意いただく際には、すべての学生が安全に参加できるよう、ご配慮いただきますようお願いいたします。

クラスでの行事および誕生日会について

- 本校では、クラス行事の準備や運営において、保護者の皆様からのご協力を歓迎しています。これらの行事に適した食品については、担当教師よりご案内いたします。
- 本校内で誕生日のお祝いを行う場合は、事前に保護者から担任教師へ相談し、許可を得ていただく必要があります。学習活動への影響を最小限にするため、お祝いの時間は正課授業中ではなく、休み時間または昼食時間に設定することをお願いいたします。
- 本校では、個別包装された食品の準備を推奨しています。ケーキや食器類を必要とする食品を持参される場合は、必要な備品（ナイフ、皿、フォーク）をあらかじめご用意ください。
- クラスでの誕生日会や行事の実施に関するすべての計画は、事前に学生の担任教師と確認・調整を行ってください。

食物アレルギー、クラス活動、または学校へ持参できる食品に関してご不明な点や詳しい情報をお求めの場合は、担任教師または学校事務室までお気軽にお問い合わせください。

第4章：保護者と学校の連携

4.1保護者と学校間のコミュニケーション

保護者と学校との効果的なコミュニケーションは、お子様の学習支援と全人的な成長において非常に重要な役割を果たします。家庭と学校の強固な協力関係を維持するために、保護者の皆様には学年を通じて様々なチャネルを通じて情報が提供されます。

- **学期初めの保護者会（オープンハウス）**：学期の初めに、HISではオープンハウスを開催し、校長や担任教師が今後の学年に関する重要な情報を提供します。内容には、カリキュラムの概要、学校の活動、そして生徒が学び経験することの方向性が含まれます。
- **週刊ニュースレター**：毎週金曜日の午後、HISに通う全てのご家庭に学校全体のニュースレターがメールで配信されます。ニュースレターには校長や各学部長からのメッセージ、小学校および中学校のイベントや最新情報の更新が含まれます。
- **学年別月間ニュースレター**：毎月最終金曜日に、担任チームがSeesawプラットフォームを通じてニュースレターを送信します。内容は学習テーマの活動、英語、算数、体育、美術、音楽、ベトナム語、社会・感情スキルなどの専門科目に焦点を当てています。これにより、保護者は子どもの授業での学びの様子を把握できます。
- **保護者向けモーニングコーヒー**：学年を通じて、HISの管理職チームが保護者のためのモーニングコーヒーやワークショップを開催し、カリキュラム、子どもの発達、メンタルヘルス、IBプログラムについて学びます。質問をしたり、意見を共有したり、教師や他の家庭とつながるリラックスした場です。学校は、保護者全員の参加を奨励し、子どもの学びのサポートを継続することを推奨しています。
- **学習テーマの概要**：各学習テーマの開始時に、担任教師がSeesawを通じて保護者に概要を送ります。概要には、中心となるアイデア、探求のための問いかけ、重要な語彙、および生徒が探究するテーマのその他の重要な情報が含まれます。
- **Seesaw**：教師や学校の管理職は定期的にSeesawプラットフォームを使用して保護者と連絡を取ります。このツールにより、保護者はメッセージを受け取り、生徒の課題を確認し、子どもの学習過程をリアルタイムで直接サポートできます
- **学校のウェブサイト**：HISのウェブサイト（www.hisvietnam.com）では、保護者が常に最新情報を得て参加できるように、記事、ニュース、今後のイベントのスケジュールが定期的に更新されています。
- **SMSメッセージ**：急な休校、授業開始の遅れ、教員の研修日などの緊急連絡の場合、学校は保護者に迅速かつ確実に情報を伝えるため、タイムリーにSMSメッセージを送信します。

上記のすべての連絡手段は、保護者の皆様が常に十分な情報を得て、お子様の学習に積極的に参加できるようにするためのものです。

学校は、質問やご意見、ご関心がある場合には電話やメールでのご連絡を推奨しています。教師や学校の管理者は、児童の学習進捗や学校に関する問題について話し合うために、いつでも面談に応じます。
面談をより効果的かつ集中して行うために、事前に教師と予約を取っていただくようお願いいたします。

4.2校内への出入り

HISでは、オープンドアポリシーを採用しており、保護者の皆様の学校訪問をいつでも歓迎しています。入学手続き時に、すべての保護者にオレンジ色のIDストラップが配布され、学校に入る際の身分証明として使用されます。安全上の理由から、来訪者はすべて正門で登録し、身分証明書を提示し、校内では赤色の来客バッジを着用する必要があります

お子様が授業時間中に学校を離れる必要がある場合は、朝7時55分までに担任の先生と事務局（メールアドレス：mainoffice@hisvietnam.com）にメールでご連絡ください。生徒は必ず事務局にて退校手続きを行い、退校時にはセキュリティ担当に署名済みの許可証を提示しなければなりません。

4.3 保護者会（PTA)

HISでは、保護者の参加が非常に重要であると考えており、お子様の学習や学校活動に積極的に関わることを常に奨励しています。活発なPTA（保護者と教職員の会）は、資金調達や施設の改善支援、学校の環境整備に積極的に貢献する重要な役割を果たしています。

PTAはまた、国際デーや夜の交流会などの文化・社会イベントの企画・運営を行い、保護者、生徒、教職員が協力してこれらの活動を準備し、祝います。PTAは毎月定期的に会議を開催し、保護者同士の交流の場となる朝のコーヒーミーティングも頻繁に企画しています。

PTAの活動に参加や見学をご希望の方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。
pta@hisvietnam.com
すべての保護者と教職員の皆様が、HISコミュニティの形成に温かく歓迎され、参加・貢献することが期待されています。

4.4個人情報の変更

非常に重要なことは、お子様の学習に影響を及ぼす可能性のあるご家庭の状況に変更があった場合、速やかに学校にご連絡いただくことです。これには、住所や電話番号、緊急連絡先、その他関連情報の更新が含まれます。情報を迅速に更新していただくことで、学校は速やかに連絡を取り、生徒の安全と福祉を確保することができます。変更があった際は、速やかに事務局（メールアドレス：: mainoffice@hisvietnam.com）までご連絡ください。

4.5一般的な問題

保護者または保護者代行者と学校との明確なコミュニケーションは非常に重要です。ご質問、ご関心、ご提案がある場合は、電話またはメールで学校にご連絡ください。お子様の学習に関する問題については、まず担任教師またはPYPプログラムの副校長 / コーディネーターに相談することをお勧めします。全校的な問題や一般的な問題については、校長または小学校長に直接ご連絡いただけます。連絡先の詳細はこのハンドブックの冒頭に記載されています。

4.6保護者からの苦情手順

以下の手順は、すべての保護者・保護者代理人が公平かつ敬意をもって学校に対して苦情や懸念を伝えられるように設けられています。

すべての苦情は個人として行う必要があります。苦情や懸念がある場合は、まず関係教員と直接話し合ってください。問題が解決しない場合は、小学校校長に連絡してください。校長は苦情を記録し、初期の対応予定日時をお知らせします。

その後、小学校校長が事実関係を調査し、必要な対応について決定を下します。関係者全員にその対応が通知され、書面による報告書が全校校長に提出され、記録として保管されます。
もし小学校校長の対応に納得がいかない場合は、保護者は書面にて全校校長に苦情を申し立てることができます。

全校校長は、上記の手続きを適用して調査を行い、最終決定を下します。関係者全員に決定が通知され、書面による記録が保存されます。全校校長の決定が最終決定となります。

参考文献

- Our Mission - International Baccalaureate®, IBO, www.ibo.org/about-the-ib/mission/. Accessed 21 May 2025

連絡先

ベトナム、ハノイ、バディン、コンヴイ、リエウザイ通り、48 番

(84 24) 3832 8140 – 3832 7379

(84 24) 37624184

Mainoffice@hisvietnam.com

Admissions@hisvietnam.com

www.hisvietnam.com